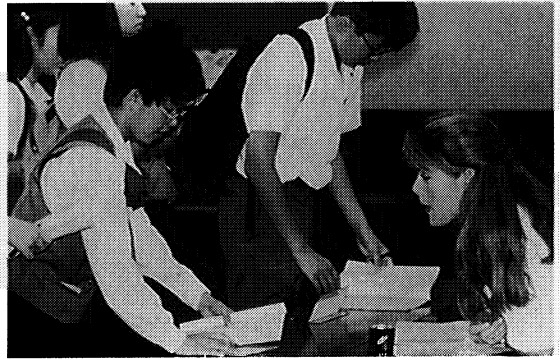
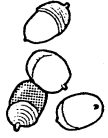


県立学校 だより



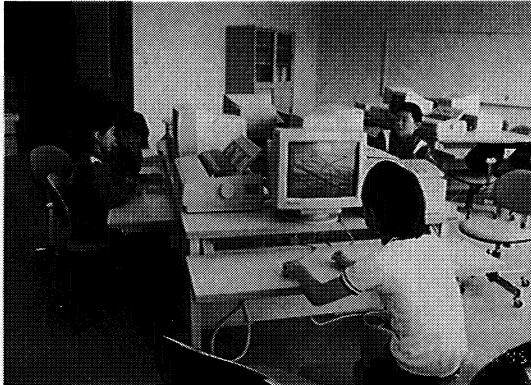
開校二年目を迎えた

県立あぶくま養護学校

本校は、平成六年四月一日に通学
制の精神薄弱養護学校として開校し
ました。

現在、小・中学部あわせて二二〇
名の児童生徒たちが県中一円より毎
日元気に通学しています。

小学部低学年では、お昼休みやス
クールバス発車の待ち時間を利用し
て一輪車やローラースケート乗り
に挑戦してバランスのととり方や、運動
機能の向上を旨とすると同時に、余暇
の楽しみ方を学んでいます。又、簡
単な物語の劇遊びを行い、言葉や歌



で全身を使って表現することの楽し
さを存分に味わっています。

中学年では、コンピュータを使っ
て算数や言葉の学習を行っています。
パソコンゲームをするような感
覚で目をかがやかせてマウスの操作
をしています。

高学年は、今、修学旅行に向けて
路線バスや列車の乗り方、公共施設
の使い方等実際の場面での指導をく
り返し行っています。

この様に、どの学年も一人ひとりの
特性や能力に応じた指導をするた



めに、教材・教具を創作したり、体
験学習を行わせながら、理解を深め
させるよう努めています。

中学部の学習は、木工、機械、工
芸、箱折りの四班に分かれて行う作
業学習が核となっています。種目に
よって選択し、各種目とも個に応じ
て作業工程や内容を工夫し、各自に
責任を持たせて行っています。分担
された工程を完成させた喜びを味わ
い意欲的に取り組み、将来に向けて
みんなと一緒に働くことができる力
を養うことをねらっています。

九月には、中学部全員で宿泊学習
を行いました。ぬけるような青空の
もと那須の茶臼岳に登山しました。
夜は、国立那須甲子少年自然の家で
キャンプファイヤーを、翌日は野外
炊飯でカレーを作る等、実り多い体
験をすることができました。

十月十一日には、国体の大会旗、
炬火リレーの走者として三名の生徒
が参加しました。ここ中田地区を走
るといふことで、地域の人々に堂々
とした姿を披露することができると
うにと毎日練習に励みました。

校舎建築も順調に進み、次年度か
らは高等部も開設する予定です。県
民からの大きな期待に応えるため、よ
り良い教育実践に向けて教職員が一
丸となって努力しているところです。